

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
JMA マネジメント研究所

優良工場表彰制度「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」決定について

～中国、インドネシア、タイ、日本の4カ国から6工場を表彰～

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、日本およびアジア地域に進出している製造業の生産性や品質の向上、改善活動に成果をあげた工場を表彰する「GOOD FACTORY賞」を2011年に創設し、優秀事例を紹介する活動を行っています。

このたび第6回の受賞企業として、NEC、オリンパス、東レ、トヨタ自動車、パナソニックの5社・6工場を決定いたしました。

「GOOD FACTORY賞」は、アジア地域で工場の生産性向上、品質向上など体質革新活動に取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を日本製造業の範として顕彰するものです。優良工場の事例を産業界に広く紹介することで、製造業の体質強化と発展に寄与することを目的としています。

GOOD FACTORY賞審査委員会（委員長：電気通信大学 情報理工学研究科 教授 新 誠一 氏）の書類・現地審査を経て、以下の企業に決定しました。

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
NEC NEC ネットワークプロダクツ株式会社 (無線通信機器、放送制御関連機器、他)	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福島県)
オリンパス 長野オリンパス株式会社 (顕微鏡、工業用内視鏡、医療関連機器)	ファクトリーマネジメント賞	日本 (長野県)
東レ Thai Toray Synthetics Co., Ltd. Ayutthaya Factory (合成繊維、フィルム、プラスチック)	ものづくりプロセス革新賞	タイ (アユタヤ)
トヨタ自動車 PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia (TMMIN) Karawang Plant (乗用車)	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (カラワン)
パナソニック パナソニックエコシステムズ株式会社 春日井工場 (換気システム、空調機器、他)	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知県)
パナソニック 無錫松下冷機有限公司 (冷蔵庫)	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (無錫)

受賞にあたっては、中国・アジア地域に進出している日系現地企業・工場ならびに国内工場で行われている改革活動とその成果を、1) しくみ、2) 運営、3) 効果性、4) マネジメントの基盤の視点から審査し、各部門で表彰します

なお次回は、2016年11月から第7回目の応募を開始し、2017年7月末に受賞発表を予定しています。
以上

【本件に関する問い合わせ先】一般社団法人日本能率協会 JMA マネジメント研究所（担当：廣瀬）
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14 階
TEL：03-3434-6270/FAX：03-3434-6330/ホームページ：http://www.jma.or.jp/mono/factory
※取材に関する問い合わせは広報室（斎藤 [TEL:03-3434-8620](tel:03-3434-8620)）へお願いします。



「GOOD FACTORY賞」とは

1. 賞の目的

日本能率協会は1942年の設立以来、日本のものづくり力を強化すべく、企業研修や資格試験、シンポジウムなどさまざまな取り組みを実施してまいりました。2011年に、グローバルなものづくりを支援する公益目的事業として優良工場表彰制度「GOOD FACTORY賞」を創設しました。

本賞は、日本およびアジア地域で、工場の生産性向上、品質向上をはじめさまざまな体質革新活動へ取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として顕彰するものです。

2. 応募対象

中国・アジア地域に進出している日系現地企業・工場ならびに日本国内工場（日系現地企業の場合、日本企業の出資比率は概ね40%以上を想定）を応募対象とします。

3. 受賞要件および受賞基準

応募されたテーマの活動およびその成果によって、工場・事業所が総合的に改善・強化されたり、地域・従業員との強い結びつきができるなどして、中国・アジア地域ならびに日本のものづくりの優秀なモデルとして他社の範となる工場・事業所を以下の4部門で表彰します。

- **ものづくりプロセス革新賞**：IE（Industrial Engineering）改善、ITの適用、品質保証、工程改善、SCM（Supply Chain Management）改善、JIT（Just In Time）、調達革新、物流革新、自動化など、工場・事業所の“ものづくりプロセス”が、総合的に改善・強化されている事例
- **ものづくり人材育成貢献賞**：全員参加の改善活動、技能伝承、能力開発への取り組み、従業員育成など、質の高いものづくりを実現するための“人材育成”に組織的に取り組まれている事例
- **ものづくりCSR貢献賞**：CSR、環境対応、省エネ、福利厚生、地域社会との結びつきなど、ものづくりを側面から支える“CSR”に積極的に取り組まれている事例
- **ファクトリーマネジメント賞**：上記3賞が表彰する個別内容ではなく、総合的に“工場運営”のレベルが高く、全体にバランスのとれた“工場運営”の良さ、といった事例

4. 審査

審査委員会は、電気通信大学 情報理工学研究科 教授 新 誠一 氏を委員長に、学識経験者、経営コンサルタントによって構成されます。受賞企業は書類審査・現地審査を通して決定し、応募企業には、審査所見をフィードバックします。

一次審査（書類審査）： 応募企業（事業所）から提出された受審資料に基づく審査

二次審査（現地審査）： 応募企業（事業所）の幹部・関係者との面接および事実確認

最終審査： 二次審査の結果を踏まえて、審査委員会で最終判定

5. 審査の視点

審査は改善・改革活動の「しくみ」「運営」「効果性」「マネジメントの基盤」の4つの視点から行われます。対象となる活動がこの4つの視点全てを満たしているか、または特定の項目に優れているかを審査します。



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」

受賞企業（1）

企業名：NEC ネットワークプロダクツ株式会社（NEC、福島県福島市）
受賞部門：ファクトリーマネジメント賞
テーマ：「生産革新」と「フロントローディング」を軸とした工場マネジメントによる“経営に直結した革新活動”

◆受賞理由

NEC ネットワークプロダクツは、異なる製品を担当する3社の統合を契機に、高付加価値製品を多品種少量で受注生産により効率的に運営していくことに取り組んでいます。

そのための方法・仕組みとして、QCDを中心とする生産システムや日々のオペレーションの革新はトヨタ生産方式で行い、また業務・改善マネジメントは主としてTPマネジメントをうまく活用しています。大変シンプルでありながら、経営へのインパクトある革新活動が推進されている工場運営であると感心しました。トヨタ生産方式とTPマネジメントの2つのアプローチを効果的に組み合わせ、工場革新を継続的に実践するシステムの構築は、非常に興味深く、審査委員一同からGOOD FACTORY賞として高い評価がありました。

合わせて、書類審査の資料、現場審査の説明も審査員が確認・把握したいことを想定した大変丁寧なもので、本活動に対する真摯な取組みの姿勢が、これらのことからもうかがえるものでした。

具体的には、以下の項目が優れていると評価しました。

- ・NEC 本体への貢献を最重視し、生産革新とフロントローディングを融合した、全社一体の「経営に直結した革新活動」を長期・継続的に推進している。
- ・経営幹部と従業員が思いを共有し、密接なコミュニケーションを行うための仕掛けが工夫されている。
- ・従業員の自律的活動を支え、求める人材像を明確にした人材育成を行っている。
- ・自律的活動を支え、コミュニケーションレベルを上げるために、工夫された管理・工場運営の見える化を行っている。

《工場概要》

- ・主要事業：通信機器および電子機器並びにそれらの部品の製造・販売・保守
各種用途のアンテナおよびその周辺機器の製造・販売・保守
- ・設立：1973年 福島日本電気株式会社として設立
2011年 3社統合により現社名に変更
- ・従業員数：1,050名
- ・所在地：福島県福島市清水町字一本松1-1（本社工場）
- ・代表者：代表取締役社長 佐梁 智昭 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」 受賞企業（2）

企 業 名：長野オリンパス株式会社（オリンパス、長野県上伊那郡） 受賞部門：ファクトリーマネジメント賞 テ ー マ：強みを最大活用した高付加価値工場の実現

◆受賞理由

長野オリンパスは、2011年10月に発足した新しい会社で、その前身として1944年設立のオリンパス伊那工場とオリンパスオプトテクノロジー、そして、岡谷オリンパスの3社を統合し、複合事業を運営する会社です。

現在の取組みに至った背景を辿ると、統合前の3社は各々の事業において各々の厳しい環境にさらされていました。さらには、東日本大震災やオリンパス問題などもあり、工場統合時は全体が一体感に乏しく、自信を失っていた状況にあったのです。このような状況下で、経営層としては「必ず成長させて次世代へ引き渡す」という覚悟のもと、経営の思いをマネジメントサイクル（＝長野モデル）へと展開し、このサイクルを回し成長軌道に繋げたことは、工場マネジメントとして評価に値します。特に以下5点が特徴的であり、評価できることです。

- ・ 3工場統合という混乱から、長野モデルというマネジメントサイクルを構築し、全員力の構築→挑戦的な目標→個の能力向上を行い高付加価値工場への道筋をつけ、成果を生んでいること。
- ・ グループ中期経営計画から展開された拠点戦略をベースにCFT（クロスファンクショナルチーム）別の戦略シナリオを構築し、アクションプラン、そして個人の目標（MBO-S）にまで展開し、そのレベルも挑戦的目標でありながら、単位も個人まで落とし込みを行い、実行性を高めていったこと。
- ・ 社内横断的なテーマを扱うCFTでは、旧3社や部門の壁を取り払う体制をとり、部長責任制のもと施策の実効性を高めたこと。
- ・ 施策の日常管理として、部長をはじめ職制が主体的に、書面ではなく「現地現物」で進捗を確認し、クローズドループのサイクルを回し、推進力を高めたこと。
- ・ 育成面については、オリンパスウェイを価値観の基軸にしながら、高度技能者育成・改善人材育成など仕組みとその実践を行っており、ものづくりは人づくりを仕組みとして実践し効果も得ていること。

《会社概要》

- ・ 主要事業：顕微鏡、工業用内視鏡、非破壊検査装置の製造・修理
医療関連製品の製造、医療内視鏡の修理
- ・ 設 立：2011年10月1日（オリンパス傘下の3社が統合）
- ・ 従業員数：1,289人（2016年4月現在）
- ・ 所在地：長野県上伊那郡辰野町大字伊那富6666番地（本社）
- ・ 代表者：代表取締役社長 田中 健寛 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」
受賞企業（3）

企業名： Thai Toray Synthetics Co., Ltd. (TTS) Ayutthaya Factory（東レ、タイ）
受賞部門： ものづくりプロセス革新賞
テーマ： タイ国合成繊維事業における生産現場力・技術力強化活動

◆受賞理由

TTS アユタヤ工場は、アジア通貨危機、リーマンショック、タイ大洪水と度重なる危機的状況に瀕したなかで、従業員一体となって改善、改革を推進し、ポリエステルおよびナイロン事業の環境変化に対応できる優れたものづくりプロセスを実現されました。

審査委員は、当工場が活動の仕組みを8項目掲げ、それぞれ継続的に推進し、一定の効果をあげてこられたことを、優れた取組みとして評価しました。工場内の個々の改善活動はもちろんのこと、設備・用役管理、エネルギーコストを重視した改善でも大きな成果をあげています。

また、近隣地域に東レ関連事業所が複数あることを生かした集中購買および連邦購買の仕組みを構築され、価格交渉力を強化されたことも優れた取組みだと思えます。現地人メンバーの会議風景も拝見しましたが、真剣そのもので、これらのことから現地メンバーの方々が活性化の中で、多くの活動が推進されていると感じました。

あわせて、これらの取組みへ参加している日本人スタッフは3名とわずかであり、現地化のレベルは大変高いものと評価しました。

具体的には、以下の項目が特に優れていると評価しました。

- ・ポリエステルおよびナイロン事業環境変化への対応のため、全社革新基盤として SuSu 活動（現地メンバーを中心とした分科会型活動）など現場密着活動を徹底推進するなかでプロセス革新を実現していること。
- ・高付加価値品への転換を目指して、日本との連携で、生産技術の現地化を推進していること。
- ・会社を超えた連携で購買コスト低減を推進していること。
- ・現地メンバーが中心となり、自立化レベルの高い活動を実践していること。

《会社概要》

- ・主要事業： 合成繊維ポリエステル、ナイロン製造販売（アユタヤ工場）
- ・設立： 1991年4月（アユタヤ工場）
- ・従業員数： 457人（アユタヤ工場）
- ・所在地： 99 Moo 1, Hi-Tech Industrial Estate. Banpo,
Bangpa-in, Ayutthaya 13160 Thailand
- ・代表者： 社長 橋本 浩二 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」

受賞企業（4）

企業名：PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia (TMMIN) Karawang Plant (トヨタ自動車、インドネシア)
受賞部門：ファクトリーマネジメント賞
テーマ：インドネシアのトヨタにおける「グローバル競争力のある人づくり、モノづくり」

◆受賞理由

TMMINは、インドネシアの自動車産業を牽引し、「現地の人による良品廉価なクルマ作りへの挑戦」を掲げ、その国に合った庶民のためのクルマ作りを実践してきました。2015年実績で年間生産台数は、車両約19.2万台、エンジン約11.2万基というインドネシアを代表する自動車生産工場へと成長しています。当社の特徴は下記の3項目です。

1. マネジメントの軸が明確で、徹底した目標展開

外部環境の大きな変化の中にあり、経営対応が必須と認識した3年先を見据えた中期経営方針の立案、3年後に実現したい業績目標の明確化、そしてそれに対応した状態を意識した取り組みがなされている。そのためのKPIや目標が明確であり、担当も明示され徹底されている。これを実施する方法として、「方針」⇒「目指す姿」⇒「現状の共通認識」⇒「実施」（実現ストーリーstep1,step2,step3）と徹底されており、その手順も明確である。

2. コミュニケーションの活性化を意図した施策の実践

原価低減に対する全職場での取り組み状況を一望できる「CR-I 大部屋」は、現状の取り組み状況の見える化だけでなく、各職場のマネジャー間のコミュニケーションの場としても有効に寄与している。現場の声を取り上げる「メンバーズボイス」の取り組みは、特にコミュニケーションの活性化、相互理解の醸成を意図したものとして特徴的である。トップマネジメントの「一番良く知っているのは現場の人」という認識を、実務で活かそうという点に特徴がある。

3. 体系的な人材育成と現地化に徹した取り組み

管理階層ごとに役割が明確で、現場の運営に当たるグループリーダー（GL）は3人のチームリーダー（TL）を掌握し、「グループ運営の監督」が役割である。TLは8人のチームメンバー（TM）をみるが、その主たる役割は「日々の生産活動の確実な遂行」である。TMは「標準作業の確実な遂行」が役割と明示されている。さらに、新人を対象とした「ラーニングセンター」や次世代メンバーを意識した「インドネシアアカデミー」、早期自立化を目指した日本人出向者の「コーディネータ制」など独自の運営に特徴がある。

《会社概要》

- ・主要事業：自動車製造、輸出
- ・設立：1971年4月（旧 TAM）
- ・従業員数：9,100人（TMMIN、2016年4月時点）
- ・所在地：JI. Permata Raya Lot DD-1, Kawasan Industri KIIC,
Karawang, Jawa Barat 41361, Indonesia（Karawang Plant）
- ・代表者：社長 野波 雅裕 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」

受賞企業（5）

企業名： パナソニックエコシステムズ株式会社 春日井工場 (パナソニック、愛知県春日井市)
受賞部門： ファクトリーマネジメント賞
テーマ： 「国内工場生き残り」と「グローバルマザー工場への変革」

◆受賞理由

パナソニックエコシステムズは第三創業期といわれる 2003 年以降環境系に事業転換し、『Panasonic・KDK・Anchor・Sanyo』のマルチブランドでグローバルに事業展開をしています。製造拠点は中国、アジア、インド、メキシコに 13 の拠点を有し、そのマザー工場機能を担っているのが、春日井工場です。その特徴は下記の 3 項目です。

1. 中長期戦略を踏まえ、工場全機能参画型のマネジメントの実践

商品特性（需要連動）とグローバル化を踏まえて国内 3 拠点を 1 拠点に集約したことを契機に、先進（アドバンスド）モノづくりを目指したマザー工場構築の取り組みを始めた。それは「アドバンスドモノづくり委員会」を中核とする活動で、工場全体が一体となって活動する仕組みを構築し、継続推進することでグローバル化を早期実現するものである。

2. 職能ごとに工夫されたグローバル化の仕組みとその実践

「グローバル一気通貫型マネジメント」と称し実践している各職能（事業企画、技術、品質企画、製造、人事）別の統括管理と活動の普及推進に特徴がある。例えば、グローバル企画はグローバル事業企画部が推進するが、毎年、3 年間のロードマップを作成し、検討フェーズを明確にし、年間を通し計画的に実施されている。またグローバル技術では、設計ライセンス制度を設定し、運用している。同様に品質、製造、人材育成にも独自の工夫とグローバル一体の推進が行われている。

3. パナソニックグループの推進事項を自社の特性にあわせ推進

大きなグループに所属する企業であり、グループとしての推進事項の取り組みに積極的であるばかりでなく、自社の事業特性を踏まえて独自の工夫を加え運用がなされている。同様に人材育成に関しても、階層ごとの研修にグループの研修も織り込んでいる。例えば「グローバル研修」（海外拠点で 2 年間）や海外拠点での短期改善研修活動を含む「班長クラスマネジメント研修」などを織り込んだ自社独自の教育研修プログラムを開発し、「春日井のグローバル人材化」と「海外拠点のモノづくり基幹人材育成」を継続して実施するなど独自の工夫をしている点も特徴である。

《会社概要》

- ・主要事業： 室内空気質（IAQ）関連事業、環境エンジニアリング関連事業
上記の機器システム開発、製造、販売、サービスエンジニアリング
- ・設立： 1956年5月（大阪電気精器として設立。2008年から現社名）
- ・従業員数： 約1,700名（春日井工場 2015年3月末現在）
- ・所在地： 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
- ・代表者： 代表取締役社長 前田 潔 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」

受賞企業（6）

企業名：無錫松下冷機有限公司	(パナソニック、中国・無錫)
受賞部門：ものづくり人材育成貢献賞	
テーマ：人財育成を軸とした継続的なイノベーション活動による	
	グローバルNO.1工場への挑戦

◆受賞理由

無錫松下冷機は無錫の新区という地域に1995年7月に設立され、当初は中国企業との合弁会社でしたが、2007年から独資の会社として運営されています。主な生産品は冷蔵庫で、中国・日本・欧州に出荷を行っています。売上げ規模は1180百万元であり、社員規模は832名（2016年3月末現在）で、中国におけるパナソニックグループの基幹工場です。今回の受賞に際し、特に以下3点が特徴的であり、評価できるところです。

- ・当初、経営的には赤字の中、その要因として、従業員の定着率の低さやモラル・職務に対する意識の低さがあり、この赤字脱出の課題として「現地人の人財育成」という長期的な施策を設定し、粘り強く取り組み、結果的に継続的なイノベーションを生み、実務的な成果（黒字）を出している。
- ・「モノをつくる前に人をつくる」という松下幸之助の言葉をDNAとし、現地に即した階層別教育体系を構築したこと。その一環として「製造学校」を設立し、中国人が主導でキーマンとなる人財を育成し、ローカルがローカルを教えるという人財育成の「現地化」を行った。特に現地人材が人財育成に先生として主体的に関与し、「他者を教えることで自ら成長する」という独自性のある良い循環の仕掛けを構築した。
- ・育成された人財がイノベーション活動に取組み、Q・C・Dなどの工場ロスの低減を行っていること。特に改善が継続的に行われる仕組みとして、日次・週次・月次でのサイクルを回すことを行い継続性の担保をしている。日次サイクルについては、関係各部門が集まり、その日の問題はその日に決着をつけるスピーディーな活動が現場で行われており、現場の力も確実に付いている。

《会社概要》

- ・主要事業：中国国内向け家庭用冷蔵庫の開発・生産
日本、欧州向け家庭用冷蔵庫の生産
- ・設立：1995年7月
- ・従業員数：832人（2016年3月末現在）
- ・所在地：中国 江蘇省無錫市 錫新一路
- ・代表者：董事長・総経理 下林 伸行 氏



一般社団法人日本能率協会「2016年度（第6回）GOOD FACTORY賞」

審査委員会

(敬称略)

委員長 電気通信大学 情報理工学研究科 教授 新 誠一

委員 日本大学 工学部 機械工学科 教授
工学研究所 次長 柿崎 隆夫

東京工業大学 工学院 経営工学系
教授 伊藤 謙治

慶応義塾大学大学院 経営管理研究科
教授 坂爪 裕

株式会社日本能率協会コンサルティング
常任顧問 シニアコンサルタント 齋藤 彰一

株式会社日本能率協会コンサルティング
シニアコンサルタント 石山 真実

株式会社日本能率協会コンサルティング
シニアコンサルタント 石田 秀夫

担当理事 一般社団法人日本能率協会
常務理事・事務局長 武中 和昭

委員兼事務局 一般社団法人日本能率協会
JMA マネジメント研究所 主管研究員 廣瀬 純男



<ご参考>GOOD FACTORY賞 過去の受賞企業一覧

2015年度(第5回) 4カ国・8社

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
コマツ コマツ 粟津工場	ものづくりCSR貢献賞	日本 (石川県)
ダイキン工業株式会社 DAIKIN INDUSTRIES(THAILAND) LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
株式会社デンソー DENSO (THAILAND) CO., LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
株式会社東芝 東芝キャリア株式会社 富士工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (静岡県)
東レ株式会社 PEN FABRIC SDN. BERHAD	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
トヨタ紡織株式会社 広州桜泰汽車飾件有限公司	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
日産自動車株式会社 SNN TOOLS & DIES CO., LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (サムプラーコン)
日立オートモティブシステムズ株式会社 日立汽車系統(蘇州)有限公司	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (蘇州)

2014年度(第4回) 3カ国・5社

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
ダイキン工業株式会社 大金空調(上海)有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
東レ株式会社 東麗塑料(深圳)有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (深圳)
日本電気株式会社 NEC Platforms Thai Co., Ltd.	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (パツムタニ)
日立金属株式会社 Hitachi Metals (Thailand) Ltd.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (アユタヤ)
株式会社ミスミグループ本社 株式会社駿河生産プラットフォーム	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)

2013年度(第3回) 4カ国・5社

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
味の素株式会社 タイ味の素社 カンペンペット事業所	ものづくりCSR貢献賞	タイ (カンペンペット)
小島プレス工業株式会社 本社・下市場工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知)
株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重)
株式会社東芝 東芝情報機器杭州社 (TIH)	ものづくりプロセス革新賞	中国 (杭州)
トヨタ自動車株式会社 Toyota Kirloskar Motor Private Ltd. (TKM)	ものづくり人材育成貢献賞	インド (バンガロール)
三菱電機株式会社 Siam Compressor Industry Co., Ltd. (SCI)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)



2012 年度（第 2 回） 4 カ国・5 社

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
東レ株式会社 P.T. Easterntex	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (スラバヤ)
東レ株式会社 東麗合成繊維（南通）有限公司	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (南通)
トヨタ紡織株式会社 Toyota Boshoku Gateway(Thailand)Co., Ltd.	ものづくりプロセス革新賞	タイ (ゲートウェイ)
日産自動車株式会社 東風日産乗用車公司 広州風神汽車有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広州)
パナソニック株式会社 広州松下空調器有限公司	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
富士通株式会社（※ 2 社の共同応募） 株式会社島根富士通 富士通アイソテック株式会社	ものづくり CSR 貢献賞	日本(島根) 日本(福島)

2011 年度（第 1 回） 5 カ国・5 社

受賞企業名（社名 50 音順）	受賞部門	所在地
オリンパス株式会社 会津オリンパス株式会社	ものづくりプロセス革新賞	日本（福島県）
株式会社東芝 東芝情報機器フィリピン社(Toshiba Information Equipment (Phils.),Inc. (TIP))	ファクトリーマネジメント賞	フィリピン
トヨタ自動車株式会社 Toyota Motor Asia Pacific Eng.& Mfg. (TMAP-EM) Toyota Motor Thailand (TMT)	ものづくり人材育成貢献賞	タイ
富士ゼロックス株式会社 Fuji Xerox of Shenzhen Ltd.	ものづくり CSR 貢献賞	中国（深圳）
ヤマハ株式会社 PT. Yamaha Music Mfg. Asia (YMMA)	ものづくり人材育成貢献賞	インドネシア